

糖尿病網膜症に伴った血管新生緑内障で受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

糖尿病網膜症に伴った血管新生緑内障に対する Baerveldt インプラントの術後長期成績

【研究の背景と目的】

Baerveldt インプラントを用いた手術は、血管新生緑内障といった難治性緑内障に対して行われます。眼圧が下がりにくい難治性緑内障に対し本手術を行うことで、眼圧を下げることで期待できます。当院では 2014 年から Baerveldt インプラントを使用しており、術後どれだけ眼圧が下がったか、またどのような合併症が生じたかを確認する必要があります。今回の研究は 2014 年から当院で Baerveldt インプラントを用いた手術を行い、5 年間以上の経過が終える患者さんのカルテを調査し、Baerveldt インプラントを使用する臨床意義を検討し、今後の Baerveldt インプラントを用いた手術の成績向上につなげたいと考えています。

【対象となる方】

2014 年 12 月から 2017 年 9 月の間に、Baerveldt インプラント挿入 Tube 手術を行った方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は手術から 5 年後までの以下の項目です。
なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。
年齢、性別、手術日、検査結果（視力・眼圧）、眼圧を下げるために使用した点眼や内服薬の数、術後に起きた合併症、術後に追加した緑内障手術

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2023 年 5 月 27 日）から 2023 年 12 月 31 日まで実施され、27 名の患者さんが対象となっています。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。
また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本臨床眼科学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 町田 繁樹（教授）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 担当者：八木 梨樺（レジデント）

PHS 1625

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-8659（医局直通）

受付時間帯：平日午前 9 時～午後 5 時

以上